

(2) フィリピン・ベンゲット州

ア フィリピン・ベンゲット州との姉妹県州提携の経緯

(ア) 提携年月日 1975年(S50)7月28日

(イ) 提携の動機と経過

- a 昭和49年度(1974)「高知県青年の船」の日程で陸上行動を取り入れ、研修・視察の充実を検討した際、青年海外協力隊として同州に駐在経験(昭和42年(1967)3月～2年間)のある吉川浩史氏(須崎市出身)が同州を紹介。
- b バギオ市在住の日系3世ドロシー・ハマダ氏やその父親等がベンゲット州への歓迎意志表示、さらには姉妹県提携をとの気運が盛り上がる。
- c 州政府も、「戦後、日本人はマニラに多数訪問しても、奥地まで入ってくる団体はない。あっても遺骨収集団とかである。「青年の船」のような一行が来訪してくれることは友好親善としても望ましく歓迎する」と意思表示。
- d 昭和49年(1974)5月27日、ベンゲット州理事会に正式に報告され、将来、姉妹県提携についても用意があることを決議。
- e 昭和49(1974)年7月23日、「青年の船」訪問。バギオ市では、ティーチャーズキャンプに宿泊。西村出納長、栗生県議等が州幹部と接触し、姉妹県提携を前向きに検討することになる。
- f 昭和49年(1974)9月議会で溝淵知事が、姉妹県提携について「具体化したい」と表明。同時期、ベンゲット州議会も高知県を姉妹県として提携することに同意議決。
- g 昭和50年(1975)2月19日、斎木副知事がベンゲット州を訪問し、予備会談。夏の「第5回青年の船」が訪問する折に調印することを決める。
- h 昭和50年(1975)7月28日、ベンゲット州庁舎で、溝淵知事、パレスピス知事により調印が行われ正式に姉妹県州の提携が行われた。

イ 「高知県とベンゲット州の姉妹県州協定宣言」

姉妹県州協定宣言

溝淵増已知事の代表する日本国高知県並びにベン・パレスピス知事の代表するフィリピン共和国ベンゲット州は、1975年7月28日をもってこの協定を締結し、ここに下記の事項を確認する。

高知県とベンゲット州は双方公式代表団の間に数回の予備会議を経て両県それぞれの目的と、相互の利益のために、姉妹県関係を確立維持することに合意をみたので以上の目的のために次のとおり申し合わせる。

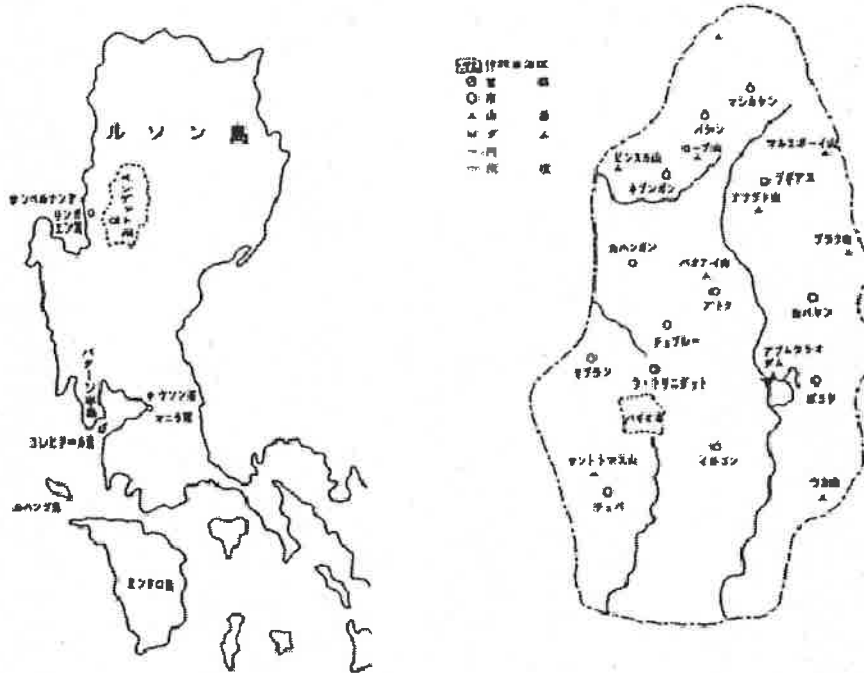
- 双方の住民の友情と理解の高揚をはかること。
- 両県民の繁栄と福祉を増進するため、たゆまざる努力をしていく上で互いに協力をしていくこと。
- 双方県州の将来の発展を目的とする適当な諸計画を作成し履行していくこと。
- 双方の人々の友情を増進し、さらに深めることを目的とする教育、社会、文化的な計画を実施していくこと。
- 双方県州の利益となる諸分野における活動を起こし、実施していくこと。

この姉妹県関係の設定は、ここに列記されている諸目的達成のためのみならず世界の平和と友愛を築くための第1歩でもある。

以上の証として1975年7月28日フィリピン共和国ベンゲット州庁において双方はここに署名する。

ウ ベンゲット州の概要

ベンゲット州は、1966年(S41)6月発効したフィリピン共和国法により誕生し、13の町(ムニシパル)からできている。



a 位置

フィリピン北部ルソン島内部の山岳地帯。首都マニラから約250km離れている。

b 州面積

283,300ヘクタール(高知県の約39%)であり、うち森林面積が214,523ヘクタールで全体の約76%を占めている。

c 人口

460,683人(2020年/R2)

d 州都

ラ・トリニダッド

e 州庁所在地

ラ・トリニダッド ベンゲット州庁舎

f 州知事

Melchor Diclas(ディクラス・メルチョー)2019(R1).7.1 就任、2022(R4).7.1 再選

g 産業

木材を産出し、金や銅など地下資源にも恵まれているが、マニラ首都圏への野菜供給州としての地位を確立している。

他には、手細工、木彫り、家具作りといった産業がある。

h 気候

雨期(5月中旬～10月上旬)と乾期(10月中旬～5月上旬)に二分され、年平均気温18度、平均雨量4,500ミリと多少雨が多いが快適な気候。

i その他

- 同州内に特別自治区としてバギオ市(避暑地として有名、人口約37万人)がある。
- 州都ラ・トリニダッドは、バギオ市から6km離れフィリピンのサラダボールともいわれるラ・トリニダッド平地内にある。

●太平洋戦争による高知県戦没者慰霊の碑が、ラ・トリニダッド市内に設けられ現地住民により管理されている。

エ 高知県とベンゲット州との姉妹交流の経過

S 50年(1975) 7月	<u>姉妹県州提携調印(7月28日)</u> 第5回高知県青年の船訪問
8月	ベンゲット州副知事以下5人来高
S 51年(1976) 8月	海外技術研修員受入(果樹栽培)
S 52年(1977) 7月	海外技術研修員受入(マッシュルーム栽培)
S 53年(1978) 6月	ベンゲット州議会議員来高
7月	海外技術研修員受入(水稲・野菜栽培)
8月	「ベンゲット州との姉妹交流を深める会」一行14人ベンゲット州訪問
S 54年(1979) 7月	海外技術研修員受入(福祉・教育システム)
S 57年(1982) 5月	第3回高知県青年の翼(団長・県知事以下40人)ベンゲット州訪問
11月	短期技術研修(再研修)受入(果樹栽培)
S 58年(1983) 7月	海外技術研修員受入(野菜栽培)
10月	ベンゲット州副知事・州議会議員等5人来高(招聘)
S 59年(1984) 7月	海外技術研修員受入(茶栽培)
S 60年(1985) 7月	海外技術研修員2人受入(野菜栽培及び花卉栽培)
S 61年(1986) 7月	海外技術研修員受入(畜産) ※マルコス政権崩壊
S 62年(1987) 6月	海外技術研修員受入(果樹栽培)
S 63年(1988) 6月	海外技術研修員受入(野菜栽培)
10月	「黒潮文化国際交流民族芸能祭」にベンゲット州より15人を招聘 (ベンゲット州知事、州議会議員、州立大学副学長ほか)
H 元年(1989) 6月	海外技術研修員受入(畜産) ※クーデター未遂事件
H 2年(1990) 3月	海外技術研修員フォローアップ調査のため県国際交流班職員1人を派遣
6月	海外技術研修員2人受入(野菜栽培及び果樹栽培) ※ルソン島大地震
9月	地震災害に対する救援募金・県見舞い金を送金
H 3年(1991) 6月	海外技術研修員2人受入(野菜栽培及び土木測量)
6月	ベンゲット州15周年記念式典へ知事祝辞と記念品を送る ※ピナツボ火山爆発
H 4年(1992) 6月	海外技術研修員2人受入(土木及び農業土木)
H 5年(1993) 3月	海外技術研修員フォローアップ調査のため県農業技術センター職員2人を派遣
6月	海外技術研修員2人受入(果樹栽培及び土木建設)
H 6年(1994) 5月	親善訪問団16人が訪問(県国際交流課職員1人を同行派遣)
6月	海外技術研修員2人受入(花卉栽培及び土木建築)
H 7年(1995) 2月	高知県・ベンゲット州姉妹交流推進会議設立
6月	海外技術研修員2人受入(果樹栽培及び土木建築)
6月	姉妹協定締結20周年を記念し、友好訪問団(県知事等56人)が訪問 姉妹協定締結20周年記念式典に参加
9月	ベンゲット州知事、州議会議長等6人を招聘
9月	ベンゲット州から短期留学生2人を受入(セルボーン高等外語学校)

H 8年(1996)	5月 高知県立農業技術センターの職員2人を農業専門家としてベンゲット州へ派遣 6月 海外技術研修員2人受入(畜産及び土木建設) 9月 海外技術研修員2人の再研修受入(農業技術) 12月 短期留学生2人の受入(セルボーン高等外語学校)
H 9年(1997)	5月 高知県立中央農業改良普及センター及び茶業試験場職員2人を農業専門家として派遣(県国際交流課職員1人を同行派遣) 5月 民間ボランティア7人が交際協力活動(茶苗木移植)のため訪問(県国際交流員1人が同行) 6月 海外技術研修員2人受入(農業技術普及教育及び土木建築) 6月 自治体国際協力研修員3人受入(茶の栽培及び製茶技術) 11月 農業研修員15人受入(JA土佐くろしお) 11月 フィリピン文化団体交流事業としてベンゲット州文化団体8人を招聘 (東津野村)
H 10年(1998)	2月 高知県立香美・土佐農業普及センター職員2人を国際協力事業団専門家として派遣 2月 親善訪問団15人が訪問(県国際交流課職員1人を同行派遣) 6月 海外技術研修員3人受入(病害虫、畜産及び土木) 11月 農業研修員12人受入(JA土佐くろしお) 11月 産業技術委員会事務局及び土佐農業改良普及センター職員2人を農業専門家として派遣
H 11年(1999)	1月 親善訪問団6人が訪問(高知県ベンゲット州姉妹交流推進会議) 6月 海外技術研修員3人受入(水稻、病害虫及び医療) 11月 農業研修員12人受入(JA土佐くろしお)
H 12年(2000)	2月 姉妹交流25周年を記念した親善訪問団13人が訪問(県職員2人を同行派遣) 月 農業技術センター及び中央農業改良普及センター職員を農業専門家として派遣 月 海外技術研修員3人受入(かんがい技術及び医療2人) 6月 小学生2人が訪問(高知県ベンゲット州姉妹交流推進会議事務局員1人同行)
H 13年(2001)	2月 農業技術センター職員3人を農業専門家として派遣 2月 海外技術研修員2人受入(畜産及び医療) 6月 県農業技術課及び農業技術センター職員2人を農業専門家として派遣
H 14年(2002)	3月 海外技術研修員3人受入(農業、栄養及び医療) 6月 県農業技術課及び農業技術センター職員3人を農業専門家として派遣
H 15年(2003)	3月 海外技術研修員2人受入(農業及び土木) 6月 草の根技術協力研修員2人受入(農業) 10月 県農業技術センター職員2人を農業専門家として派遣(草の根技術協力事業)
H 16年(2004)	3月 海外技術研修員1人受入(農業) 10月 ベンゲット州知事、州議会議員、州政府観光課長等3人が農業研修生、実習生受入先モニターのため来高(くろしお農業振興協同組合)
H 17年(2005)	6月 自治体職員協力交流研修員1人受入(農業) 11月 姉妹交流30周年を記念した親善訪問団18人が訪問(県職員2人を同行派遣)
H 18年(2006)	6月 自治体職員協力交流研修員1人受入(畜産) 10月 ベンゲット州副知事、総務部長等3人が農業研修生、実習生受入先モニターのため来高(くろしお農業振興協同組合)

H 19年(2007) 6 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(農業)
10 月	ベンゲット州各地の保健所長6人が日本における地域保健システム研修のため来高
H 20年(2008) 4 月	ベンゲット州知事、農業研修生の本県受入開始10年を記念して来高
5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(畜産)
10 月	ベンゲット州保健局次長、ベンゲット州各地の保健所長6人が日本における地域保健システム研修のため来高
10 月	ベンゲット州議会議員、農民連盟副会長等3人が農業研修生、実習生受入先モニターのため来高(くろしお農業振興協同組合)
H 21年(2009) 5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(土木)
H 22年(2010) 2 月	ベンゲット州保健局次長、州立病院長5人が日本における地域保健システム研修のため来高
4 月	ベンゲット州議会議員、カパンガン町長等3人が農業研修生、実習生受入先モニターのため来高(くろしお農業振興協同組合)
5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(土木)
11 月	姉妹交流35周年を記念した親善訪問団18人が訪問(県職員2人を同行派遣)
H 23年(2011) 4 月	ベンゲット州知事、州議会議員2人(計3人)が農業研修生、実習生受入先モニターのため来高(くろしお農業振興協同組合)
5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(花卉栽培技術)
H 24年(2012) 5 月	ベンゲット州議会議員、州政府職員3人が農業研修生、実習生受入先モニターのため来高(くろしお農業振興協同組合)
5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(花卉栽培技術)
11 月	協定締結40周年記念植樹に向け、桜「センダイヤ」をベンゲット州に寄贈(種子提供及び州政府への持参協力:県立牧野植物園)
H 25年(2013) 5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(施設野菜栽培技術)
H 26年(2014) 3 月	ベンゲット州知事ご夫妻、ご息女1人(計3人)が農業実習生受入先モニターのため来高(くろしお農業振興協同組合)
5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(土壌管理技術)
H 27年(2015) 11 月	姉妹交流40周年を記念した親善訪問団29人が訪問(県職員6人を同行派遣) 姉妹交流公園予定地へ桜の植樹
H 28年(2016) 5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(造園・施設管理)
6 月	姉妹交流公園予定地にて桜の植樹式を開催
H 29年(2017) 3 月	ベンゲット州知事ご夫妻、元知事が農業実習生の本県受入開始20年を記念して来高
H 29年(2017) 5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(造園・農業)
H 30年(2018) 5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(造園・農業)
R 1年(2019) 5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入中止
R 2年(2020) 5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入中止
R 3年(2021) 5 月	自治体職員協力交流研修員1人受入中止
R 4年(2022) 10 月	自治体職員協力交流研修員1人受入(畜産)
	*R1～R3年度については新型コロナウイルスの感染拡大により受入中止